



地方通信

近畿方面

實現の可能性ある姫路市の国道擴張工事

兵庫縣土木課では、目下頻に明年度豫算の編成を急いでゐる、經費其他の都合上目星しい新規事業はないが、先年來要望されてゐる姫路市の國道擴張費が、考慮中に入れられてゐるらしく、即ち岡山縣から来る、國道第二號線（六間幅）が同市二階町で行きつまつて居るのを東に延長し、兵營南側の濠を埋めて十間道路とし、山陰線と交叉する處から六間道路として市川方面に至る延長千二百間の道路の改良である、工事費總額は用地買收費と工事費とを合せて、約七十萬圓を要する見込で、この經費の四分の一を姫路市

が負擔するか否かゞ、この問題決定の鍵鑰となつてゐるやうであるが、同市では既に十五萬圓までの負擔は敢て之を辭せないといふから、此の問題は懸て實現さるゝに至るのであらう。

いよいよ着手した阪神國道電車工事

阪神國道の上を通る、阪神國道電車の敷設工事はいよいよ着手され、武庫郡萬願村の車庫から東西に假線を埋設し、國道工事の進捗とともに徐々に工を進めてゆくこととなつてゐる、電車は架空式とし「セントラーボール」にすると交通に支障を來す恐れがあるので、現在の阪神や阪急のやうにすべて「サイドボール」とする外將來沿道の發展を見越し、沿線一帶に電燈電力を供給する動力線をも添へる計劃であるが、これは全部ガルバナライズ（合金塗布）されることになつてゐるから竣工の曉は、相當美觀を呈することであらう。いまのところ國道の方は大分完成が遅れる見込みだが、縣として體面上からいつても、今年中に自動車を走らす位にはしたいといふので、目下全力を擧げて工事中である。國道全部の完成するのは來年四月頃になるであらう。之が完成の曉において敏馬から市内の國道が、四間半や五間では折角の大國道も美觀を減殺されるので、少くも春日野道邊までも新設の國道並にした方がよいとの議論が、近頃當事者間に叫ばれてゐる。

大阪市内の道路工事

御堂筋線の中、梅田阪急前から梅田新道に至る第一區擴張工事が、炎天下に行はれて居る、其の他市の道路工事は目下數箇所に達してゐて、これ等の道路工事の工程又は豫定に就て市の都市計画部が、調査したものと擧げると次のやうである。

新設道路の内梅田から扇橋に至る北野線（幅員十五間）は既に工事にとりかゝり十月頃迄に竣工させ、それから電車軌道の敷設にかかる豫定である。次に大今里から下味原町に通る鶴橋線（幅員十二間）これも十月までに、道路工事を終る豫定であるが、電車軌道の敷設は目下城東線と交叉する猿橋が工事中なので多少遅れるのであらう。又泉尾町から小林町に至る泉尾線（幅員十二間）は工程大に進み道路だけは殆んど完成の域に達して居るが橋梁の架替が遅れて居るので、開通には尙多少の日子を要するであらう。

擴張道路では梅田阪急前から新道に至る御堂筋第一區間の工事は、沿道住民の立退きも終り電車軌道工事の方も交叉點を除く部分は、すつかり出来あがり交叉點の方も今月中には敷設替を見る豫定で、敷設する事になつて居る高速度電車は、いよいよ二三年事となつて豫定通りに進捗してゐるので、近々道路工事に移り明年四月迄には新装を整へる豫定である、次に花園橋から川口端建藏橋に至る九條梅田線の一部（幅員十六間）は軌道と道路と同時に急いである、そしてこの調査が済み次第直ちに本設計にとりかゝ

目下工事進捗中であつて十一月までには完成させる豫定である。

今月から着手の道路新設道路では三軒屋から泉尾町に至る幅員十二間の泉尾線が、近日の内に工事にとりかゝる、又擴張工事の方では未吉橋から上本町二丁目に至る幅員十五間の長堀線の一部も、今月から工事に着手することとなつて居る。

買収済の所としては堂島十三線（堂島大橋・十福島）天神橋西筋線（天六一長柄）西横堀線（信濃橋・四ツ橋）逢阪線（天王寺西門・新奈良街道）法圓阪線（谷町三丁目・馬場町）の五ヶ所がある、大阪市都市計事業は、起債の認可が思ふやうに控らないのと、其他の關係から全工程に一ヶ年の遅延を來して居るようであるが、兎に角、工事は次から次ぎへと進みつゝある、しかし起債が思ふよう認め可して貰へないので、目下買収に着手して居るところは一つもない。

近々敷設される大阪市高速度電車軌道

大阪市が約二億圓の工費を以て、全市四十餘哩に亘り十箇年の間に建設にとりかゝる段取りとなり、既に十五、十六兩年度に亘り技術上の基本調査と、地質調査のため四十萬圓を投じて調査を急いでいる、そしてこの調査が済み次第直ちに本設計にとりかゝ

る筈であるが、工事計劃の大要に付擔任者は左の如く語る。

線路は淺地下隧道式と閉床高架式構造で、全部を複線となし、軌間に四咲八時とする。この内先づ地下式隧道の構造については、普通路下式と稱する淺地下の隧道とし、複線を二室に仕切れる函形の鐵筋混擬土構造で約十咲の深さにする積りである。これは現在の下水道や其他地下埋設物が、十咲内外にあるので、それ以上の深さを必要としない。次に高架橋の構造であるが、これは大體に於て一本脚高架橋とする、然し費府市のように一本脚傘型脚柱の桁をもつて連結するのは、日本の如き地震國では不適當であるから、幅員六尺の連續壁の拱型に穴を穿つた形、即ち一本脚を「拱」をもつて連結し、脚柱の箇所を堅固にし、これを連結せる「拱」より左右に傘型に「カンチレバーアーム」を出したる構造にする。尙停車場は約半哩毎に設け、道路の中央と歩車道境界に三本の脚柱を設け、其の上に橋床を置きたいと思ふ。車輛は幅員九咲、定員三十人乗り位として、動力車と附隨車を混用した列車式電車としたい」と、

次に舊市内に於ける南北一二號線が、地下式となつて居るのでに對して、第四號線即ち起點を築港として長堀川の北岸に沿ひて東に走る線は、全部高架式となつて居るのは工費の關係からではあるが、現在のところ長堀川沿ひは都市計劃の十五間道路の南に沿

つて、幅員約二十間の長堀川があつて、兩側の住家の距離が約三十五間であるから、道路の南側歩道上に高架線を敷設しても、兩側住家に至る距離は何れも約十五間を有する事となるから、沿道住民にも迷惑を及ぼさずにつみ、構造に依つては却つて外觀の美を發揮することが出来るであらう。

東 海 方 面

岡崎市の道路網實地踏査

愛知縣岡崎市、豊橋市及一宮市の三市に於ける都市計劃道路網をもつて連結し、脚柱の箇所を堅固にし、これを連結せる「拱」により左右に傘型に「カンチレバーアーム」を出したる構造にする。中豐橋一宮兩市の道路網は、地方委員の決定通り内務省では認したが、岡崎の道路網のみ是認せず、技師を岡崎へ出張せしめ實地調査をする事になつたが、内務省では明大寺岡崎村東方の山脈を餘程高いものと思惟し之れが爲岡崎村と美合村との連絡が、困難の様に思つて右の如く技師を出張せしめるものらしく、實地踏査すると忽ち疑點が冰解し地方委員の決議通り決定するだらう。

中 國 方 面

土木是確立に伴ふ道路計劃變更

廣島縣では土木是の確立を期し、明年度豫算に約五萬圓の經費を計上して土木事業方針を決定すべく目下各方面に亘つて、根本的調査をしてゐるが、これが爲從來計劃してゐる道路改修にも、一部の變更を見る筈で、特に八百里的府縣道改修は緊縮方針の折柄頗る困難を感じてゐる模様であるから差當り交通頻繁な主要道路に應急策を講じ又一面府縣道の整理を爲し以て漸次道路の完成を圖る方針である、その他砂利置場も從來二千三百餘ヶ所設置の計畫を變更して、先づ一千餘ヶ所を急施することゝし一萬二千圓を投じて本年度に於て設置すべく三百八十九箇所に次いて明年度豫算に相當經費を計上する筈である。

東 北 方 西

仙臺市都市計劃街路

問として、仙臺驛附近一帯は交通の集中により混雜を來すべきを考慮して、十六間の環狀線を作り更に此の地點より幅員十二間以下の幹線及補助線を大體放射狀となし、且市内に在つては約半哩、市外に在つては約一哩の間隔に配置して幅員も亦その實情に適する様定めた東西幹線は將來發展の素質を有する東方一帯の開發に供すると共に、現市街地との連絡を考慮して配在せしめたものであつて、就中一等大路第三類第二號線（清水小路線幅員十二間）は最も重要なるものに屬し尙同第三號線（仙臺市驛原の町線幅員十二間）は兼て仙臺市の門戸とも云ふ鹽釜港との連絡を圖り同八號線（八幡町案内線幅員十二間）及第九號線（定禪寺通松原線幅員十二間）は石卷街道に連絡し、次に南北線中の重要線たる同第七號線（提町長町線幅員十二間）は仙臺市の北端から市内を縱貫して南方長町に至るものであるが、努めて現在國道筋の既成市街を避けて、構築の便宜と交通の圓滑とを期したものである。

改修される仙臺市内の道路

宮城縣仙臺市都市計劃道路網は、近日地方委員會に附議せらるゝ筈であるが、街路設計の理由は左の通りである。
都市計劃道路の配置に付ては、仙臺驛東口線は特に幅員を二十

宮城縣道路改良計劃は、今秋から市内を手始めに着手されるとになつてゐるが、その經費の約半額は關係地方民の醸出に待つのであるから、その進行の程度は當然寄附金の成績如何に係るの

である、市内國府縣道筋にあつてこの計劃に最も早く共鳴したのは名掛町で、既にすぐく會合を催して醵出金の協議を進めてゐるから恐らくは第一に起工さるゝに至るであらう。然し他町に於ても縣の發表とともに、それより協議の道程にあるから、案外纏まりのつく方面が多く且つ時期を早めるかも知れない。何分市の悪路は名物の一つになつてゐて殊に應急修理の方法が、蒲鉾形の積重ねとなつてゐるので年々その度を増し今や大通りで一尺以上の勾配を有するのが普通となつて仕舞つた。

停車場前から名掛町を上つて芭蕉の辻に進む所謂大町通りの如きは、前年の玉石敷詰めの餘弊として、路面に凸凹を生じて徒步でも油斷が出来ないのみならず人力車上にある人は其の動搖に堪へぬ程である。これ等悪路を修理するには坪當り二十圓の工費とし、その半額十圓を負擔すれば先づ並店として二百圓内外だから決して至難の業ではなからう且つ大共進會を開設せんとする矢先だから、是非ともこの計劃の進捗を期したいといふ聲が高くなつて來た。

立派になつた北目町通ガード

本月二十日までは竣工する

地獄道と呼ばれたほど、雨の日、風の夜、通行人を悩ませた北

目町通りの鐵道ガードも、九月二十日頃には立派な道路となつて總工費六萬八千圓の値打を示す、以前の十四尺五寸が二十七尺八寸の擴い道路に變り、中央部に柱壁が立つて兩道に分ち、各九尺幅石疊の車道、四尺幅コンクリートの人道をつけ東西兩入口に下水溝を設けるから、泥濘の患ひなく、兩入口の電燈外にガード内に十二個の電燈を點して夜間の通行に便するさうだ、五月一日から起工だが何分、上部に列車を運轉させる工事だから豫定よりは少し竣工が遅れたさうだ。

道標に左側通行や桃の村

植田岳雪

路面犯す樹枝伐採や五月雨

愛兒途に守なく出さじ菊の主

護身保護夏の月にも車の灯